

# 桜友会 広報誌 まごころ

## 第十九号

発行人  
社会福祉法人 桜友会  
「法人本部」  
〒036-8374  
弘前市大字土堂字長瀬385-1  
TEL 0172-39-2222  
FAX 0172-39-2223  
URL <http://o-yukai.jp>



理事長  
町田 藤一郎

空は深く澄み渡り、日増しに寒さが身にしみる季節となりました。コロナ禍にあつてご苦労も多いかと拝察致しますが、皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。

当地域では、梅雨時の雨量不足や夏の猛暑が心配でしたが、水稲もりんごも順調な生育を見せ、例年以上の出来秋となりました。

さて、今年は豪雨災害が多発し、家屋や農作物、人命にまで及ぶ大きな被害を各地にもたらしました。県内でも下北地方の橋や道路が寸断され、一部住民が孤立したことは記憶に新しいところです。

この度の災害に際し、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

豪雨災害に限らず、自然災害は年々増加傾向にあるそうです。今年は東日本大震災から十年という節目の年でもありますので、災害対策を見直す良い機会だと思っています。

当法人においても、施設外への避難が難しい場合も考慮して屋内安全確保を検討し、備蓄量の増強、発電機の使用訓練や速やかな情報伝達方法の整備等、各施設の利用者様が非常時であっても不安を感じず、なるべく日常と変わりにない生活を送って頂けるように、細心の注意を払って参ります。

まだまだ先を見通しづらい状況ではありますが、当法人はこの状況の一日でも早い終息を願い、地域の皆様と共に歩み続けていく所存でございます。今後ともご指導とご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。



# 介護老人保健施設 ふじ苑



施設長(管理医師)

千葉 博信



昨年から猛威を振るう新型コロナウイルス感染症のために、春の桜祭りとは何か執り行われたものの、コロナ感染の急増に伴い、ねぶた祭りは昨年に続き急遽中止となりました。

このままでは秋の菊祭りの開催も危ぶまれます。

一方、周りの稲は一面黄金色に輝き、りんごはたわわに実り、今年の津軽野は素晴らしい収穫の秋を迎えそうです。

ふじ苑の入所者の皆様も職員の皆様も無事、コロナワクチン二回の接種を終え、通所者を含め、現在一人の感染者も出ていない事は大変有難く、皆さんの日ごろのご尽

力に心から感謝申し上げます。

まだまだ、この感染症の収束の気配は見えないため、今後も十分に注意が必要です。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

さて当苑の入所者の皆様も通所者の皆様も職員の献身的サービスにより、大過なくこの一年を過ごされたことを心から感謝申し上げます。

慢性的な人手不足の中大変ではありますが、職員一同、今後も協調の精神と互助の精神で当苑利用の皆様へ安全と安心なサービスを提供すべく一層精進いたしますのでよろしくお願い致します。

九月三十日 記





作業療法士

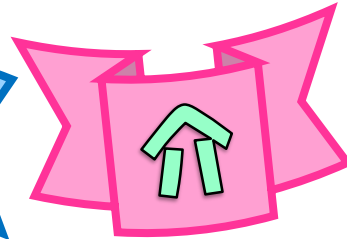
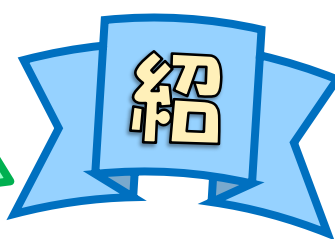
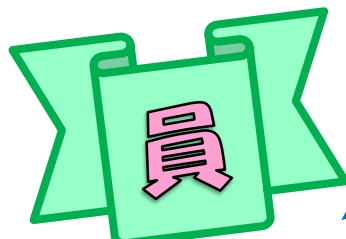
葛西 優美

昨年の十一月から勤務している作業療法士の葛西優美です。以前は、回復期病棟やデイケアで働いていました。施設での勤務は初めてで、分からないことや戸惑うことは多くありましたが、先輩方から沢山のご指導をいただき、慣れることができました。

この二年程は、新型コロナウイルスにより、入所者の方々とご家族との面会の機会が失われており、気持ちの落ち込みや寂しい思いをしている方が多く見受けられます。

リハビリ職として身体面を見ることはもちろんですが、ひとりひとりの精神面にも配慮し、お話を傾聴することや、不安を感じないように明るく笑顔で接することなど、これからも継続していきたいです。

入所者の皆様に施設内で心地よく過ごしていただき、安全に機能維持を図れるようにサポートしていきたいと考えています。今後のご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。



調理師

寺嶋 僚

昨年の四月より調理員として勤務しております、寺嶋僚です。前職でも、他の介護老人保健施設で調理員として働いておりました。

初めて出勤した時は、緊張と不安しかありませんでした。しかし、職員の皆さんが優しく丁寧に仕事を教えてくださり、徐々に緊張も不安も無くなりました。

前職でも思いましたが、食事は入所者の皆様の楽しみのひとつだという事を再認識し、これからも少しでも美味しい食事を提供できるように頑張っていきたいと思います。

まだまだ半人前ですが、よろしくお願い致します。





# 介護老人保健施設 ふじ苑

感染症関連のニュースが続いており、入所者の皆様には、外出や外泊などを我慢して頂き、御家族の皆様にも、入所されている御家族と会えないご不便や、心配をお掛けしております。入所者にとって御家族との時間は、精神的な安定という大切な意味もあると感じております。

限られた時間ではありますが、オンライン等を活用して、一緒に時間を大切にして頂ければ、大変うれしく思います。コロナ禍の中、入所者お一人、おひとりが施設での生活や、リハビリ等を頑張っております。

職員も「感染しない・持ち込まない」努力を継続しています。今後も予防に努めながら、職員皆で力を合わせ、入所者の希望する生活・心地良く安心して暮らすことができるように、前向きなケアを心掛けていきたいと思っております。

ケアマネジャー 小山内 佐登子



ひまわりからふじ苑を経て、十五年勤務している、赤石恵美子と申します。

今現在、コロナ禍ということもあり、入所者の皆さんは大好きな家族と触れ合うことも、面会することも出来ない状況が続いています。

不安になっている、寂しい思いをしている入所者は沢山いるかと思います。そんな入所者が毎日笑顔でいられるよう、少しでも気分転換出来るように笑顔を忘れず、体調管理をしっかり行っていきたいと思っております。

コロナウイルスが終息し、入所者が元気に心からの笑顔が見られることを願い、これからも笑顔を絶やさず頑張っていきたいと思っております。

准看護師 赤石 恵美子





入所ホールへの扉を開けると、いつも手を振って頂く。手踊りもどきをすると一緒に合わせて頂き、テレビの野球中継時は談議に付き合ってください。

「あれえ～！髪こ、上げでの方がいいきゃ！」と、手を握って頂く。利用者様との関わりにより、心に光を頂いております。

人生を潤すには人との関わりが重要ですが、奥深く容易では無いように思います。でも、人として一番成長できる課題ではないかとも……………。

良いケアを提供するには、ケアさせて頂く側の心の安定と充実が求められ、自分の心のバランスを保つ訓練が必要になります。察知する能力に長けている利用者様に、気を使わせてはなりません。

世情が何かと不安定な今だからこそ、施設を癒しの空間とし、利用者様の表情が少しでも豊かになりますように……………。

この時をこの場で共有している縁は意義があるのかも知れないと思えば、利用者様やご家族様との関わり、職員同士の関わりを大事にできるのではないのでしょうか。

ふじ苑 令和三年度施設目標 今日一日「笑顔」と「感謝」の心で接しましょう！  
を意識し、大切な利用者様と共に時を刻んでいきたいと思ひます。



# 通所リハビリテーション ひまわり



支援相談員

奈良 義昭

今年の八月より、ひまわりの支援相談員として勤務している、奈良義昭と申します。前職では、他の介護老人保健施設にて入所・通所兼務の支援相談員として業務をしていました。

新しい職場という事もあり、何も分からずウロウロしているばかりでしたが、職員の皆さんからアドバイスを頂きながら、業務をこなしております。

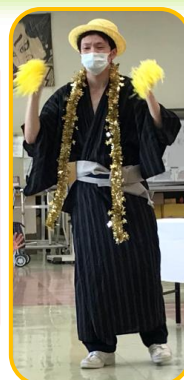
通所リハビリは、要介護認定を受けて在宅生活を送っている利用者様が施設に通っていただき、日帰りでリハビリやマッサージ、入浴等のサービスを提供致します。

医師の管理の下、作業療法士や言語聴覚士等の専門的なスタッフによる機能訓練（リハビリ）を提供し、心身機能の維持や日常生活の自立を図ることを目的にしています。

新型コロナウイルスの影響により一部の行事が行えなくなりましたが、利用者様に楽しんで頂けるよう工夫を凝らし「今日一日楽しかった」とか「また来たい」と思ってもらえるように頑張っていきたいと思います。



敬老会



100歳 祝賀会



ボーリング大会



バレー大会 優勝



運動会 玉入れ



夏祭り 射的



運動会 万歳!!



風船バレー大会



# グループホーム さくらの里

さくらの里では、面会が制限されている期間「皆と仲良くやってるべが。ちゃんとご飯食べでるべが。」そんなご家族様の思いを胸に、少しでも安心して頂けるよう写真付お便りを送付させて頂いております。日々の様子やベストショット、入居者様のご家族様へ伝えたい事等、スタッフと一緒に作成しています。

体操に張り切る姿や、行事に熱中する無邪気な笑顔を見て、「家族一同いつも笑わせてもらって、とても楽しみにしています。」と喜んで頂き、私達の励みにもなっています。

入居者様の個性や習慣も様々ですが、その方にとっては特別ではなく、当たり前の日常生活になります。一人ひとりの意思を尊重し、「その人らしさ」を大切にする支援を忘れず、向き合っていきたいと思います。

～お風呂でほっとひとコマ～

湯舟に浸かりながら若い頃を振り返る入居者様。  
「人生色々、若い時は色々あるべな、ワッハッハ。」  
人生の大先輩ならではのお言葉、この笑い声で私達の迷いは何回ふっ飛んだことでしょう。

私達はいつも教えられ、元気を頂いています。  
これからもどうぞよろしくお願い致します。



介護福祉士 高谷 美千代



織姫と彦星



敬老会



満開の桜



ねぶた祭り



お山参詣



福笑い



お花見弁当



園芸



スイカ割り



パン食い競争

# 居宅介護支援事業センター ひばり

お風呂に入った時や布団に横になった時、「あずましい」と思わず口に出ることがあります。そもそも「吾妻しい・妻が近くにいるような心地良さ」という意味らしいのですが、心を許せる人が傍らにいてくれることこそ、一番の安らぎといったところでしょうか。

新型コロナウイルス感染拡大により、会いたい人に、会いたい時、会えない時世が続いています。日々の生活や将来に不安を抱えながら過ごされている方も少なくないでしょう。「困ったな。どうすればいいかな・・・。」と思った時、私たちのことを思い出していただけたら幸いです。

暮らしの中でお困りの事がございましたら、是非ご相談ください。皆様の心に寄りそって「あずましい」暮らしのお手伝いができるよう、日々精進してまいります。

管理者 鈴木 文子



## お気軽にご相談下さい

無料体験実施中！！

### ●介護老人保健施設「ふじ苑」

〒036-8374 弘前市大字土堂字長瀬385-1

☎ 0172-38-5550 FAX 0172-38-5525

### ●通所リハビリテーション「ひまわり」

〒036-8374 弘前市大字土堂字長瀬385-1

☎ 0172-37-7705 FAX 0172-38-5525

### ●グループホーム「さくらの里」

〒036-8373 弘前市大字藤代字広田131-1

☎ 0172-39-2122 FAX 0172-39-2123

### ●居宅介護支援事業センター「ひばり」

〒036-8374 弘前市大字土堂字長瀬385-1

☎ 0172-39-2020 FAX 0172-39-2012